

# 平成25年3月期 第2四半期決算説明資料

平成24年11月9日



イムケー精工株式会社

**JASDAQ**

証券コード: 5906

# 平成25年3月期 第2四半期の決算概要

# 平成25年3月期 第2四半期の総括

## ■業績の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要など内需が牽引し緩やかな回復基調にあるものの、欧州債務問題による世界経済の減速や新興国の経済成長の鈍化、円高の長期化等が国内経済に影を落とし、更には隣国との外交問題が緊迫化するなど、依然として先行きが懸念される状況で推移いたしました。

当社グループ関連業界におきましては、設備投資に改善傾向が見られるなど、一部明るい兆しはあるものの、競合他社との価格競争が続いており、引き続き厳しい事業環境にあります。

こうした状況の中、当社グループにおきましては、提案型営業を推進し新規顧客の開拓や既存取引先の深耕など積極的な営業展開を図るとともに、生産合理化や海外部材調達の推進等、更なる原価低減及び経費削減に努めてまいりました。一方、商品開発部門におきましては、市場環境や顧客ニーズの変化に迅速に適応し、環境問題に配慮した高付加価値商品の開発に一段と努めております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、88億7千7百万円(前年同期比1.0%増)、営業利益は6億2千6百万円(前年同期比64.3%増)、経常利益は6億5百万円(前年同期比74.9%増)、四半期純利益は4億6千7百万円(前年同期比43.9%増)となりました。

## 平成25年3月期 第2四半期の業績

### <連結業績>

単位：百万円

|        | 24年9月期 | 23年9月期 | 対前期比   |
|--------|--------|--------|--------|
| 売上高    | 8,877  | 8,786  | 101.0% |
| 営業利益   | 626    | 381    | 164.3% |
| 経常利益   | 605    | 346    | 174.9% |
| 四半期純利益 | 467    | 324    | 143.9% |

## 平成25年3月期 第2四半期連結貸借対照表

単位:千円

|           | 24年9月期     | 23年9月期     | 増減額      |
|-----------|------------|------------|----------|
| (資産の部)    |            |            |          |
| 流動資産      | 11,576,670 | 11,619,009 | △42,338  |
| 現金及び預金    | 1,411,069  | 1,402,847  | 8,222    |
| 受取手形及び売掛金 | 4,431,334  | 4,587,884  | △156,550 |
| たな卸資産     | 5,510,466  | 5,358,215  | 152,250  |
| その他の流動資産  | 223,800    | 270,061    | △46,260  |
| 固定資産      | 9,383,061  | 9,860,430  | △477,368 |
| 有形固定資産    | 6,331,222  | 6,556,892  | △225,669 |
| 無形固定資産    | 1,625,577  | 1,747,783  | △122,206 |
| 投資その他の資産  | 1,426,261  | 1,555,754  | △129,492 |
| 繰延資産      | 1,451      | 2,423      | △971     |
| 資産合計      | 20,961,184 | 21,481,863 | △520,678 |

## 平成25年3月期 第2四半期連結貸借対照表

単位：千円

|           | 24年9月期     | 23年9月期     | 増減額        |
|-----------|------------|------------|------------|
| (負債の部)    |            |            |            |
| 流動負債      | 9,519,444  | 11,891,845 | △2,372,400 |
| 支払手形及び買掛金 | 1,236,626  | 1,294,553  | △57,927    |
| 短期借入金     | 5,126,780  | 7,750,836  | △2,624,056 |
| 未払金       | 2,627,330  | 2,454,438  | 172,891    |
| その他の流動負債  | 528,707    | 392,017    | 136,690    |
| 固定負債      | 3,831,727  | 2,773,759  | 1,057,967  |
| 長期借入金     | 3,268,005  | 2,242,282  | 1,025,723  |
| その他の固定負債  | 563,722    | 531,477    | 32,244     |
| 負債合計      | 13,351,171 | 14,665,604 | △1,314,433 |

## 平成25年3月期 第2四半期連結貸借対照表

単位:千円

|              | 24年9月期     | 23年9月期     | 増減額      |
|--------------|------------|------------|----------|
| (純資産の部)      |            |            |          |
| 株主資本         | 8,103,428  | 7,479,217  | 624,210  |
| 資本金          | 3,373,552  | 3,373,552  | -        |
| 資本剰余金        | 2,951,143  | 2,951,143  | -        |
| 利益剰余金        | 2,288,854  | 1,664,643  | 624,210  |
| 自己株式         | △510,121   | △510,121   | -        |
| その他の包括利益累計額  | △493,415   | △662,959   | 169,543  |
| その他有価証券評価差額金 | △117,539   | △288,189   | 170,649  |
| 繰延ヘッジ損益      | △3,288     | △9,369     | 6,081    |
| 為替換算調整勘定     | △372,587   | △365,399   | △7,187   |
| 純資産合計        | 7,610,012  | 6,816,258  | 793,754  |
| 負債純資産合計      | 20,961,184 | 21,481,863 | △520,678 |



# 平成25年3月期 第2四半期連結損益計算書

単位：千円

|                     | 24年9月期           | 23年9月期           | 増減額            |
|---------------------|------------------|------------------|----------------|
| 売上高                 | 8,877,439        | 8,786,362        | 91,077         |
| 売上原価                | 5,871,875        | 6,120,520        | △248,644       |
| <b>売上総利益</b>        | <b>3,005,563</b> | <b>2,665,841</b> | <b>339,721</b> |
| 販売費及び一般管理費          | 2,379,072        | 2,284,583        | 94,489         |
| <b>営業利益</b>         | <b>626,490</b>   | <b>381,258</b>   | <b>245,232</b> |
| 営業外収益               | 46,397           | 67,053           | △20,656        |
| 営業外費用               | 67,552           | 102,109          | △34,556        |
| <b>経常利益</b>         | <b>605,335</b>   | <b>346,202</b>   | <b>259,133</b> |
| 特別利益                | 30               | 13,124           | △13,094        |
| 特別損失                | 43,886           | 1,483            | 42,403         |
| <b>税金等調整前四半期純利益</b> | <b>561,479</b>   | <b>357,844</b>   | <b>203,635</b> |
| 法人税等及び法人税等調整額       | 94,007           | 33,061           | 60,945         |
| <b>四半期純利益</b>       | <b>467,472</b>   | <b>324,782</b>   | <b>142,689</b> |



## 平成25年3月期 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位：千円

|                         | 24年9月期   | 23年9月期   | 増減額      |
|-------------------------|----------|----------|----------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー        | 205,334  | △171,047 | 376,382  |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー        | △127,443 | 66,868   | △194,311 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー        | △100,610 | 162,659  | △263,269 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額        | 1,811    | △414     | 2,225    |
| 現金及び現金同等物の増加額<br>(△減少額) | △20,907  | 58,066   | △78,973  |
| 現金及び現金同等物の期首残高          | 373,678  | 286,483  | 87,195   |
| 現金及び現金同等物の期末残高          | 352,771  | 344,549  | 8,221    |

## 平成25年3月期 第2四半期連結株主資本等変動計算書

単位：千円

|                                | 株主資本      |           |           |          |           |
|--------------------------------|-----------|-----------|-----------|----------|-----------|
|                                | 資本金       | 資本剰余金     | 利益剰余金     | 自己株式     | 株主資本合計    |
| 平成24年3月20日残高                   | 3,373,552 | 2,951,143 | 1,893,892 | △510,121 | 7,708,466 |
| 当連結会計年度中の変動額                   |           |           |           |          |           |
| 剰余金の配当                         |           |           | △72,510   |          | △72,510   |
| 当期純利益                          |           |           | 467,472   |          | 467,472   |
| 株主資本以外の項目の当連結<br>会計年度中の変動額(純額) |           |           |           |          |           |
| 当連結会計年度中の変動額<br>合計             | -         | -         | 394,961   | -        | 394,961   |
| 平成24年9月20日残高                   | 3,373,552 | 2,951,143 | 2,288,854 | △510,121 | 8,103,428 |

## 平成25年3月期 第2四半期連結株主資本等変動計算書

単位:千円

|                                | その他の包括利益累計額      |             |              |                           | 純資産<br>合計 |
|--------------------------------|------------------|-------------|--------------|---------------------------|-----------|
|                                | その他有価証券<br>評価差額金 | 繰延ヘッジ<br>損益 | 為替換算<br>調整勘定 | その他の<br>包括利益<br>累計額<br>合計 |           |
| 平成24年3月20日残高                   | △96,533          | 8,788       | △397,699     | △485,444                  | 7,223,021 |
| 当連結会計年度中の変動額                   |                  |             |              |                           |           |
| 剰余金の配当                         |                  |             |              |                           | △72,510   |
| 当期純利益                          |                  |             |              |                           | 467,472   |
| 株主資本以外の項目の当連結<br>会計年度中の変動額(純額) | △21,006          | △12,076     | 25,112       | △7,970                    | △7,970    |
| 当連結会計年度中の変動額<br>合計             | △21,006          | △12,076     | 25,112       | △7,970                    | 386,991   |
| 平成24年9月20日残高                   | △117,539         | △3,288      | △372,587     | △493,415                  | 7,610,012 |

## セグメント別分析

### ■ オート機器事業

主要製品の門型洗車機は、主力取引先であるSS業界やカーディーラー及び整備工場におきまして、昨年度に引き続き買い替え需要が好調を維持し、販売が堅調に推移いたしました。オイル関連製品におきましては昨年度好調であったエアコンプレッシャーの落ち込みはありましたが、タンクローリーの増販でカバーし、また積極的な提案型営業により新規顧客開拓に注力いたしました結果、売上高は前年同期比2.0%増の52億5百万円となりました。

### ■ 情報機器事業

原発事故に伴う節電の影響で落ち込んでおりましたアミューズメント業界におきましては、更新需要に回復の兆しが見えました。また、SSの価格表示看板にまとまった受注があったほか、官需分野では前期末の受注残が今期の売上に寄与できましたことから、売上高は前年同期比6.1%増の13億4千2百万円となりました。



門型洗車機「G-FOUR ジーフォー」



道路用表示システム

# セグメント別分析

## 生活機器事業

個人消費低迷が長引く中、消費者の節約志向・低価格志向と相俟って、当生活関連分野におきましては厳しい状況が続いております。保冷米びつは堅調に推移しましたが、パン焼き機などの調理家電におきましては海外商品との価格競争、農産物低温貯蔵庫は競合他社との価格競争により苦戦を強いられました。また、昨年度は東北地方を中心に需要が大きかった台所収納庫関連も需要が一段落し売上を落としたことから、売上高は前年同期比10.9%減の18億5百万円となりました。

## 住設機器事業

子会社の株式会社ニューストが行う事業で、木・アルミ複合サッシ及び反射板式消音装置の製造・施工が主な事業であります。主要取引先である建設業界は依然として厳しい状態が続いており、当社への影響も例外ではなく厳しい状況にあります。昨年度後半からの受注が比較的好調に推移し、今期上期の売上に寄与できたことから、売上高は前年同期比43.6%増の4億4千7百万円となりました。



農産物低温貯蔵庫



木・アルミ複合窓  
「アルタスウッドウインドウ」の施工例



## セグメント別分析

### ■ その他の事業

その他の事業は、長野市内で展開しております「長野リンデンプラザホテル」の運営事業及び保険代理業、不動産管理・賃貸業であります。

ホテル業は、業者全体の競争激化に加え、長引く経済不況の影響を受けて厳しい経営環境が続いております。売上高は前年同期比2.3%減の7千5百万円となりました。



長野リンデンプラザホテル

## 平成25年3月期 業績・配当予想

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。



## 平成25年3月期の業績予想

### <連結業績>

単位：百万円

|       | 25年3月期(予想) | 24年3月期(実績) | 対前期比   |
|-------|------------|------------|--------|
| 売上高   | 19,500     | 18,824     | 103.6% |
| 営業利益  | 800        | 772        | 103.5% |
| 経常利益  | 730        | 690        | 105.7% |
| 当期純利益 | 600        | 554        | 108.3% |

## 平成25年3月期の配当予想

当社グループは、株主各位への利益還元を重要な政策と位置づけ、今後の事業展開を念頭に財務体質の強化のための内部留保とのバランスを考慮した利益配分を基本方針としております。

平成25年3月期における1株当たりの年間配当予想は以下のとおりです。

### <1株当たり年間配当金>

|              | 1株当たり期末配当金 |
|--------------|------------|
| 平成25年3月期(予想) | 8円00銭      |
| 平成24年3月期(実績) | 5円00銭      |

# 參考資料

# 当社の経営方針

## ■ 今後の経営方針

当社グループは、企業理念「求・消・営」のもと、お客様(消費者)をすべての中心に据え、お客様に求められる製品を販売及び営業することに努めてまいりました。また、開発から製造・販売までの一貫体制による「自社考案・自社販売」を基本方針として、研究開発型企業を志向しております。

なお、当社グループを取り巻く環境は益々変化しており、様々な分野において顧客ニーズやビジネスモデルが多様化しております。こうした変化や多様化に敏感かつ柔軟に適応すべく、モノづくりとサービス提供との高度な融合にチャレンジし続けてまいります。

## 中長期的な経営戦略

### ■ 中長期的な経営戦略

今後の経済見通しは、緩やかな回復傾向を辿ると期待されるものの、国内では原発問題に伴う電力不足が懸念され、海外では欧州債務危機や中東情勢等の問題が燻っており、不透明な状況が続くものと予想されます。

当社グループは、こうした経済情勢に過度に左右されることなく、増収増益を達成できる強靱な企業体質を目指して、以下の課題に取り組んでまいります。

#### ①お客様の視点に立った発想

当社グループは、常に顧客視点に立ち、環境変化を的確かつ柔軟に捉えるとともに、お客様の課題・ニーズをくみ上げ、既成概念にとらわれないイノベーションを追求し、お客様の期待を超える新しい喜びを生み出す企業を目指します。

#### ②コア技術力の深耕と他分野への応用

当社グループは、長年培ってきたメカトロを中心としたコア技術に磨きをかけるとともに、他分野への応用にチャレンジし、蓄積された技術資源と異分野あるいは外部資源との戦略的な融合を図ります。

#### ③モノづくりとサービスを支える人財育成

当社グループは、お客様の視点に立ったモノ及びサービスを複合的・複層的に提供し、また更なるグローバル化の進展に対応するため、すべての社員がプロフェッショナルとなるよう人材育成に努めます。

## 中長期的な経営戦略

### ④信頼の確保

当社グループは、お客様の高い信頼を得るため、優れた提案力、製品力、安心かつ高品質なモノ及びサービスを提供し続けるべく、そのための仕組みづくりを強化します。

### ⑤質実の追求

当社グループ社員は、何よりも顧客価値の提供を優先するものとして、飾り気なくかつ誠実に日々の業務に精励します。

## 研究開発活動

原材料費の変動や円高基調が続く中、市場はデフレ傾向が継続しており、これによる消費動向や投資動向への影響など当社を取り巻く環境は厳しい状態が続きました。このような社会状況の中で、市場の変化、技術の変化を感度良く取り入れ、環境問題に配慮した研究開発の実践が求められています。当期も引き続き「フュージョン・テクノロジーで未来へ」を合い言葉に、「メカトロニクス技術」と「情報通信・処理技術」をコアテクノロジーとした高付加価値商品の研究開発を基本方針として、研究開発活動を次のとおり進めてまいりました。

### ■ オート機器事業

門型洗車機はフルサービスSS(サービスステーション)向け普及機種モデルチェンジを行い、市場からの要望が強い節水仕様を標準搭載とし、使用水量50%削減を実現しました。また、新たな洗浄システム技術の開発を行い、消費電力と使用水量を削減する、環境に配慮した商品開発を進めています。

その他の整備機器では、電気自動車やハイブリッド車の新技術に対応し、効率よい作業環境を求める市場ニーズに応える新しいエアコンガスクリーニング充填機の準備を進めています。



# 研究開発活動

## ■ 情報機器事業

公官需向けでは、前期に引き続き高速道路及び一般道の道路情報板システムと機器の開発を行いました。特に高速道路情報板向けでは、コストパフォーマンスに優れたマルチカラー表示ユニットを開発し、これを使用した情報板を納入しました。また、交通情報提供機器と関連技術の開発を継続して進めています。

民需向けでは、店舗向け小型表示機のモデルチェンジを行いました。また、コストパフォーマンスに優れたフルカラー表示システムを開発しました。工事関連、道路維持管理向け表示機では、小型表示機の開発を行い、CO2削減と省エネに寄与する太陽電池を電源としたLED表示機や灯器について新機種の開発を進めました。

# 研究開発活動

## ■ 生活機器事業

農家向け商材では、多様化する設置場所の要望に対応して、軒下設置用小型低温貯蔵庫用を市場導入しました。また、農作業のアシスト機器として、圃場でも使用可能な機動性のある手動リフターを新製品として市場導入しました。

調理家電では、海外市場向け商品の開発を行いました。また、新たな用途カテゴリに向けた商品の企画、開発に着手しております。

## ■ 住設機器事業

主力商品である木・アルミ複合断熱サッシでは、枠のスリム化により意匠性を向上させかつ窓の開放感が出るようにした「ワイドネスウインドウ」の開発が終了し、販売を開始しました。

さらに、木・アルミ複合スクリーンでは、より高性能な商品となる「カーテンウォール」を新しく開発しましたが、今後はこの商品のラインアップ充実のため、引き続き開発を継続してまいります。

## 新製品情報

### ■ オート機器

#### 【 門型洗車機 「VIRTH ヴァース」 】

車形認識、洗浄、乾燥のすべてを革新的に進化させ、1WAY(0.5往復)洗車の価値を高めました。特に乾燥機能は業界初のキャノンブローを搭載し5方向ブローで水滴が残りやすい凹凸部に威力を発揮し、拭き上げの手間がなく洗車エリアの回転率もアップします。また、隙のないブラシ動作により水や電気の使用量も抑えられエコ性能も格段に向上しました。



# 新製品情報

## ■ 情報機器

### 【 店舗向けFV4042表示機 】

フルカラーバリューシリーズに一般店舗向け小型フルカラー表示機「FV4042」をラインアップに加えました。部材の海外調達比率を高め大幅なコストダウンを実現しつつ、現行品に劣らない表示品質に加え、明るさは5,300cd/m<sup>2</sup>以上を確保しています。

この新製品は、店舗向けフルカラー表示機として販売している「KVシリーズ」と比較し高精細のため動画や写真などに適しているため、一般店舗のPRや公共施設での情報板として様々な活用シーンに対応できる商品仕様となっております。



# 新製品情報

## ■ 生活機器

### 【 玄米低温貯蔵庫「味の新鮮蔵S」 軒下設置タイプ 】

玄米低温貯蔵庫「味の新鮮蔵S」シリーズの小型タイプ3機種に、軒下に設置ができる屋根付きモデルを追加して、4月より発売を開始いたしました。

天井面全体を覆うことで、日差しや雨、雪から冷却ユニットや電装部をしっかり守ります。

今までに低温貯蔵庫の購入を検討しながら、設置スペースが確保できないため諦めていた農家の方やこだわりの産直米をまとめて購入されている非農家の方にもお薦めのモデルとなっています。





# 株主優待制度のご案内

## 株主優待制度の内容

当社のグループ会社で運営する長野リンデンプラザホテル(長野市南千歳町)の宿泊優待券(5,800円相当)を贈呈いたします。

## 発行基準

宿泊優待券は、毎年3月20日現在、所有株式数1,000株以上の株主様に対し、次のとおり発行いたします。

| ご所有株数           | ご優待券 |
|-----------------|------|
| 1,000株 ~ 1,999株 | 2枚   |
| 2,000株 ~ 3,999株 | 3枚   |
| 4,000株 ~ 9,999株 | 4枚   |
| 10,000株以上       | 6枚   |

## 発行日

定時株主総会后、決議通知に同封いたします。

## 有効期限

発行年の翌年6月30日まで。



長野リンデンプラザホテル



本資料に関するお問い合わせ

**エムケー精工株式会社**

経理本部 IR担当 竹内

TEL : 026-272-2819

E-mail : [takeuchi\\_k@hq.mkseiko.co.jp](mailto:takeuchi_k@hq.mkseiko.co.jp)